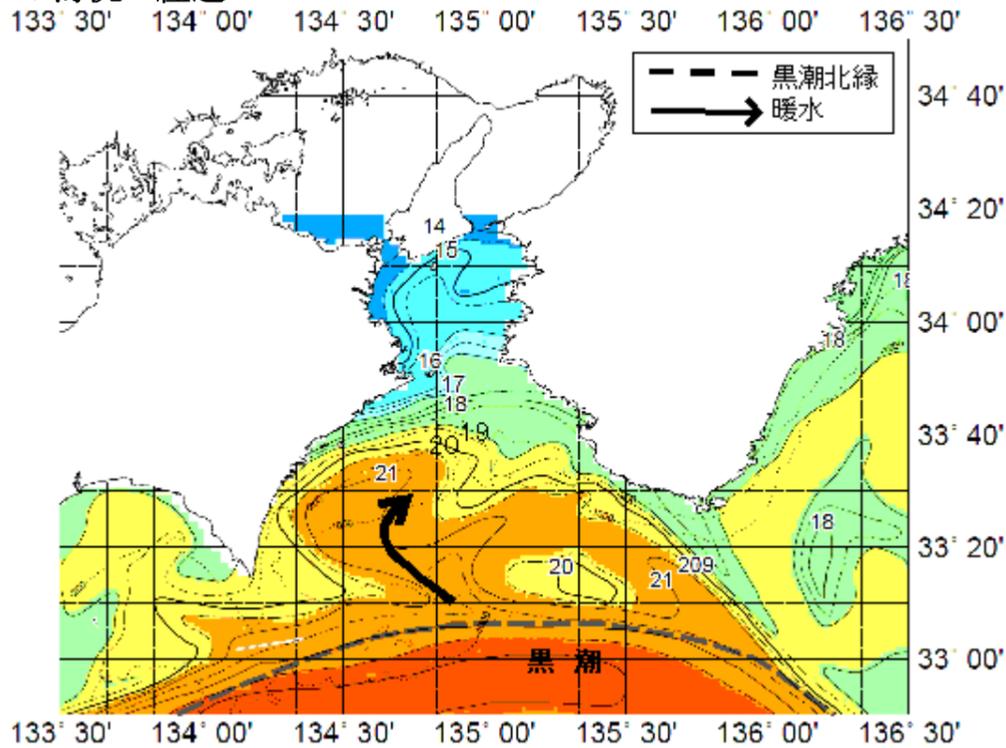


1. 海況の経過



海況

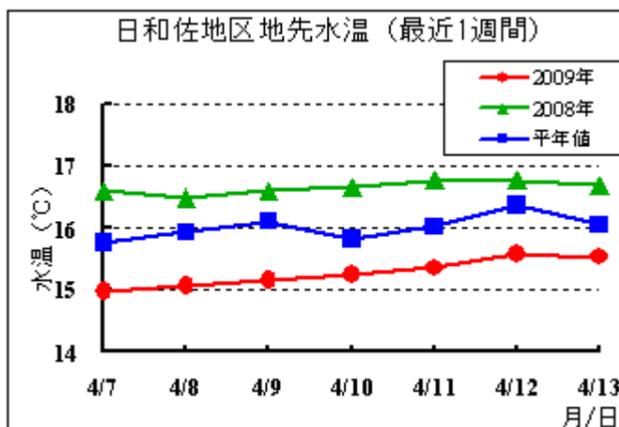
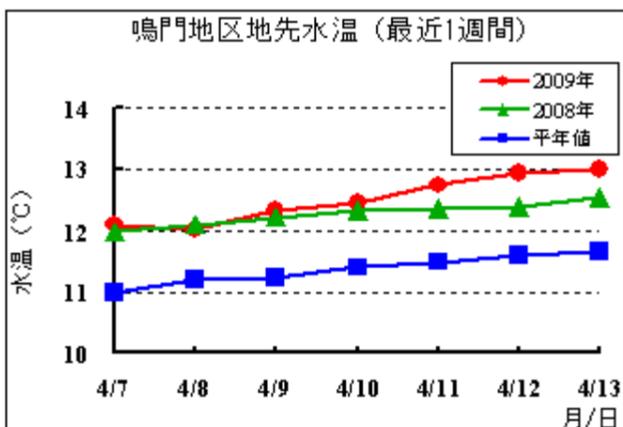
上に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県および和歌山県が共同で作成した海況図(H21.4.13)を示した。
 黒潮は、室戸岬沖でやや離岸、潮岬沖でかなり離岸している。室戸岬以西の黒潮は、足摺岬沖と都井岬沖でやや離岸している。
 黒潮本流の表面水温は21~22℃台である。
 表面水温は播磨灘が13~14℃台、紀伊水道が13~16℃台、外域が16~21℃台である。
 紀伊水道外域では、先週に引き続き室戸岬沖から海部沿岸に沿って暖水が流入している。
 漁業調査船「とくしま」が4月8日に行った播磨灘海区の海洋観測では、水温は表層では「高め」の12.8℃、10~30m層で「やや高め」の10.3~11.5℃であった。

播磨灘海区観測結果 (観測日 2009/4/9)

水温	水深				塩分	水深			
	表層	10m	20m	30m		表層	10m	20m	30m
今年値	12.8	11.5	11.2	10.9	今年値	32.7	32.8	32.8	32.8
平年偏差	1.8	1.3	1.1	0.9	平年偏差	0.2	0.2	0.1	0.1
前年偏差	1.1	0.0	-0.1	-0.2	前年偏差	-0.1	-0.1	-0.2	-0.3

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや高め」の12.0~13.0℃、日和佐地区は「やや低め」の15.0~15.6℃、牟岐地区は「やや低め」~「やや高め」の15.2~17.4℃で推移した。



2. 漁況の経過

延縄:海部沿岸で、大主体にアマダイが0.3トン(1日1隻当たり17kg)水揚げされた。

小型定置網:海部沿岸で、アオリイカが0.9トン(同31kg)、ウルメイワシが0.7トン(同24kg)、カタクチイワシが4.1トン(同86kg)、キビナゴが0.7トン(同30kg)、小主体にマアジが2.0トン(同41kg)、マイワシが0.8トン(同45kg)水揚げされた。

大型定置網:海部沿岸で、小主体にスルメイカが0.2トン(同23kg)、小小主体にマアジが7.4トン(同491kg)、メジロが0.4トン(同34kg)水揚げされた。

釣り:海部沿岸で、中主体にゴマサバが1.2トン(同20kg)、大・中主体にタチウオが1.7トン(同26kg)、マサバが0.7トン(同13kg)、紀伊水道で特大主体にタチウオが2.6トン(同82kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋) 4月6日～4月12日 県下7漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄		アマダイ	16	269	17	大主体
小型定置網	海部沿岸	アオリイカ	30	942	31	
		ウルメイワシ	31	748	24	
		カタクチイワシ	48	4,104	86	
		キビナゴ	25	744	30	
		マアジ	49	2,006	41	小主体
		マイワシ	18	802	45	
大型定置網	海部沿岸	スルメイカ	9	205	23	小主体
		マアジ	15	7,359	491	小小主体
		メジロ	11	379	34	
釣り	海部沿岸	ゴマサバ	61	1,199	20	中主体
		タチウオ	68	1,737	26	大・中主体
		マサバ	57	724	13	
	紀伊水道	タチウオ	32	2,617	82	特大主体

特異事項:

漁業調査船「とくしま」による調査では、海部沿岸で夜光虫が多く見られ、一部では海面がピンクになっている。また、本県沿岸でアカクラゲに混ざってミズクラゲも見られるようになった。

週間予報:

黒潮は、室戸岬と潮岬でやや離岸で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先で「やや高め」の13℃台前半、日和佐地先で「やや低め」の15℃台で推移する見込み。

他県情報:

和歌山県のひき縄釣りで、カツオが18.6トン(1日1隻あたり19kg)、ビンナガが7.7トン(同8kg)、定置網で、ブリが4.6トン(同382kg)、ワラサが9.8トン(同817kg)、マアジが8.1トン(同675kg)、釣りでサバが0.6トン(同8kg)、イサキは1.4トン(同19kg)、パッチ網でシラスが16.9トン(同174kg)水揚げされた。

*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50~1.49, 高め(低め):±1.50~2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上